

☆重症児デイサービス、オープン 看護師・八代さん、秋田市に

秋田魁新報電子版 2018年10月8日

<https://www.sakigake.jp/news/article/20181008AK0036/>

> 重い障害のある子どもを預かり、医療的ケアをするデイサービス事業所「にのに」が8日、秋田市御野場にオープンした。市内のNPO法人「にこっと秋田」（八代美千子代表理事）が運営する。利用者の成長を支え、長時間のケアに追われる家族の負担軽減につなげたい考えた。

重度の身体障害と知的障害がある重症心身障害児（重症児）を対象とする放課後等デイサービスと、18歳以上の重症者が対象の生活介護を手掛ける。1日当たりの定員は10人。看護師でもある代表理事の八代さんや保育士、介護福祉士らスタッフ12人が交代で利用者をサポートする。

オープン初日は20、30代の3人を受け入れた。このうち、秋田市新屋の清水聡子さん（38）はチューブで栄養を送る胃ろうや、たんの吸引などの医療的ケアが必要。母親の和子さん（67）は「オープンを心待ちにしていた。聡子は人と触れ合うのが好き。楽しそうにしている様子を見ることができてよかった」と話した。

八代さんは今春まで、県立医療療育センター（秋田市）に勤務。看護師としてのキャリア23年の半分以上は障害者看護に関わってきた。「これまで以上に子どもや家族の力になりたい」と考え、医療的ケアが必要な子を安心して預けられる場をつくることを決意。退職後、にこっと秋田を立ち上げ、オープンに向けて準備を進めてきた。

八代さんは「利用者の受け入れが始まり、身が引き締まる思い。何よりも安全安心に配慮し、スタッフのみんなと力を合わせて運営していきたい」と語った。

県によると、重症児を主な対象とした放課後等デイは秋田市では第1号。事業所名の「にのに」は、所在地が御野場1丁目2の2であることが理由。

サービスの提供時間は午前9時～午後5時（日曜定休）。問い合わせは、にこっと秋田TEL018・838・6125
…などと伝えています。

▽特定非営利活動法人 にこっと秋田

多機能型重症児者デイサービス にのに FBホーム

<https://www.facebook.com/特定非営利活動法人-にこっと秋田-多機能型重症児者デイサービス-にのに-210672856201561/>